

製品・サービス動向-国内

■楽天コミュニケーションズ：ブラウザだけで接続可能な CafeX Communications 社の次世代型 Web 会議コミュニケーションサービス「Chime Meetings」の国内提供開始

(4月17日)



Chime Meetings イメージ (楽天コミュニケーションズ)

楽天グループの通信会社である楽天コミュニケーションズ株式会社 (<https://comm.rakuten.co.jp/>) (東京都世田谷区) は、CafeX Communications 社 (<https://www.cafex.com/ja/>) (米国・ニューヨーク州) の次世代型 Web 会議コミュニケーションサービス「Chime Meetings」を4月17日より国内において提供開始する。

Chime Meetings は、WebRTC 技術をベースとした、クラウド型 Web 会議コミュニケーションサービス。プラグインやアプリケーションのインストールが不要でブラウザだけで、ビデオ・音声・テキストチャット・資料共有といった機能を誰でも簡単に使うことができる。主要なパソコン向けブラウザを全てサポートしており、社内だけでなく、社外の顧客とも簡単にかつ安全に接続できるようになっている。

今後、他社のビデオ会議システムとの SIP 連携のほ

か、iOS・Android などモバイル端末にも順次対応していく予定。

初期費用は0円、月額基本料金は1,950円/ユーザ(税別)。最低利用期間は12カ月となっている。なお、既存のビデオ会議端末や SIP 端末との接続が可能のため、事前検証のための無償版も用意している。

楽天コミュニケーションズとしては、WebRTC 技術をベースとした、ブラウザだけで利用可能な企業向けコミュニケーションサービスの提供を拡大していく方向だ。昨年より国内総販売代理店として販売している CafeX 社「Live Assist」と今回発表した Chime Meetings に加え、今後、プロジェクト単位でのグループチャットやドキュメント共有、タスク管理ができるコラボレーションプラットフォーム「Chime Spaces」も新たなソリューションとして順次販売開始する予定となっている。

■バイキューブ：動画も活用した企業内研修を実現する学習管理システム「V-CUBE ラーニング」を提供開始

(4月17日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、企業向け学習管理システム「V-CUBE ラーニング」を4月17日より提供開始する。

バイキューブによると、今後、企業内研修やセミナーでは従来の文書や資料を使った e ラーニングに加えて、動画の活用が増えていくことが見込まれているという。

そこで今回、バイキューブグループの Wizlearn

Technologies 社がシンガポールにある多くの教育機関や企業に提供している学習管理システムをベースに、ブイキューブグループの他サービスと連携させ、日本企業向けに開発した。



V-CUBE ラーニング画面イメージ (ブイキューブ)

V-CUBE ラーニングは、e ラーニングだけではなく、エンタープライズ向けビデオソリューション「QUMU」との連携による動画コンテンツの作成や編集、Web セミナーサービス「V-CUBE セミナー」との連携によるリアルタイムの遠隔講義も可能となっている。

だれでも簡単に研修コース・コンテンツ作成ができ、PC やタブレット、スマートフォンなどマルチデバイス対応で「いつでも」「どこでも」受講・学習が行える。また、研修管理者は、組織・個人単位で学習履歴を確認できるとともに、「いつ、どのような端末」から利用されているかなどのシステム利用状況も確認できる。加えて、研修に関わる講師・研修管理者・受講者は、作成したコンテンツの共有を行いながらテキストチャットなどを利用したコミュニケーションが可能となっている。企業の教育内容に最適な研修を実施できるとしている。

■SOBA プロジェクト：わずか 2 行の HTML コードでビデオチャットを実装できる開発キット発売、映像音声などパーツ毎に提供

(News2u.net: 4 月 17 日)

株式会社 SOBA プロジェクト (<http://www.soba-project.com/>) (京都府京都市)は、わずか 2 行の HTML コードでビデオチャットを実装できる開発キット「SOBA フレームワーク・クラウド、オンプレミスタイプ」を 4 月 17 日にリリースする。

SOBA フレームワーク・クラウド、オンプレミスタイプは、同社の Web 会議システム「SOBA ミエルカ・クラウド」のベースにもなっており、現在 500 社以上への導入実績があるため、この開発キットを使用することで安定した Web サービスを開発することができるという。

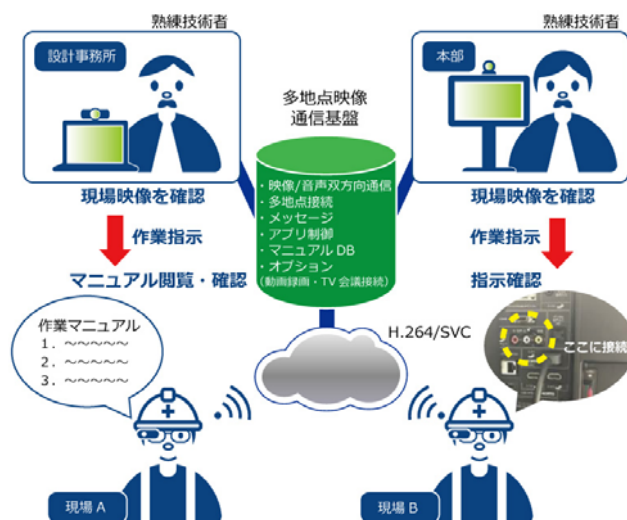
またこの開発キットには、映像と音声 Web ページに組み込むことができる「映像音声・パーツ」のほか、「録画再生・パーツ」、「チャット・パーツ」、「スライド・パーツ」、「動画共有・パーツ」、「アンケート・パーツ」、「スマートフォン・パーツ」といった機能を提供する便利なパーツをそれぞれ提供している。なお、スマートフォン・パーツは、iOS や Android で開発できるパーツ。スマートフォンで開発したアプリは、PC (Windows、Mac) と通信することができる。各パーツを Web ページに組み込むためには、基本的にはそれぞれ 2 行程度の HTML コードを Web ページに記述する形になっている。

価格は、各パーツ (50 万円から 200 万円) によるが、たとえば、映像・音声パーツが 200 万円、チャット・パーツが 50 万円となっている。

■NTT ビズリンク：スマートグラスを用いた IoT x 映像コミュニケーションサービス 「スマートグラスクラウド」の提供を開始

(4月17日)

NTT ビズリンク株式会社(<https://www.nttbiz.com/>) (東京都文京区)は、スマートグラスと映像コミュニケーションサービスを組み合わせた「スマートグラスクラウド」の提供を開始する。



サービス提供イメージ (NTT ビズリンク)

スマートグラスクラウドは、スマートグラスを NTT ビズリンクの多地点映像通信基盤に接続し、現場での映像を複数拠点でシェアしたり、現場作業員と本部スタッフ双方向でハンズフリーの映像・音声のコミュニケーションを実現するサービス。

工事、点検等を行う現場における作業を遠隔で支援するツールとして、ウェアラブルデバイスの活用が昨今注目を集め、支援の仕方もひとつの現場に対して複数のロケーション(たとえば、本部、設計事務所、パートナー企業など)から行うといったニーズの多様化が顕在化してきているという。そういったことから、20年に渡り映像コミュニケーションサービスを提供してきた同社ではクラウド型サービスを自社開発し提供することになった。

特徴としては以下の通り。(1) 現場の映像を複数

ロケーションで共有し相互コミュニケーションが可能、遠隔での作業支援業務がさらに効率化される。(2) パケットロス耐性の強い H.264/SVC を搭載しているため、屋外現場など不安定なモバイル通信環境でも安定したコミュニケーションを実現する。(3) テレビ会議端末を含むさまざまなデバイスとスマートグラスを接続することが可能。(マルチデバイス対応)(4) 現場映像の録画、キャプチャーした映像へのマーキング、現場作業員のグラスにマニュアルの表示、チャットメッセージを送ったりと現場作業を支援する機能が充実。(5) クラウドサービスのため初期投資を抑えつつ、小規模の利用から始め、効果や利用頻度に合わせて拡大していくことができる。

■レノボ・ジャパン:ビジュアルコミュニケーション・サービスの提供を開始

(4月25日)

レノボ・ジャパン株式会社(<http://www3.lenovo.com/jp/ja>) (東京都千代田区)は、昨年、株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)と共同で発表した、レノボの「ThinkCentre M700 Tiny」を本体とする、会議室向けテレビ会議システム「V-CUBE Box」の販売を開始した。また、Web 会議サービスのライセンス「V-CUBE One」の取り扱いを開始した。

V-CUBE Box は、コンパクトでリーズナブルな価格に抑え、最大 100 拠点以上を接続可能なテレビ会議システム。

V-CUBE Box の特徴は以下の通り。(1) シンプルなリモコンによる操作で、V-CUBE Box をインターネットに接続して ID/パスワードを入力するだけで初期セットアップが可能となっている。(2) 大規模導入や拠点数の拡張の際には MCU (多地点接続装置) が不要なため、導入コストや保守ランニングコストを抑えることができる。(3) 他社製テレビ会議システムと

の連携もできるため、既存の環境に追加して利用することも可能となっている。(4) サポートの面では、ブイキューブによる 24 時間 365 日の日本語でのカスタマーサポートで安心できる利用環境を提供している。

また、V-CUBE Box を、V-CUBE One のサービスに含まれるクラウド型 Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」と組み合わせることで、PC やスマートフォン、タブレット端末とも接続することが可能となっている。

レノボのスマートデバイス製品と V-CUBE Box、V-CUBE ミーティングを組み合わせることで、自宅や外出先の PC やタブレットからも利用可能なコミュニケーションツールの提案が可能となる。ハードウェア、コミュニケーションインフラ両面からワークスタイル変革をサポートする。

販売価格は、本体価格と 3 年間のライセンス使用料込みで 693,000 円～(V-CUBE Box 3 年版)。V-CUBE One (3 同時接続 3 年版) が 1,420,500 円～。なお、ライセンス使用料については、3 年以降は別途ライセンスの更新料がかかるようになっている。

ビジネス動向-国内

■VTV ジャパン：映像コミュニケーション技術をまとめた大久保榮氏の「テレビ会議教科書」を Web 公開

(4 月 17 日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、長年テレビ会議技術に携わり、現在、同社の技術戦略アドバイザーを務める大久保榮氏 (IEEE フェロー) が、これまでの知見を基に映像コミュニケーション技術について体系的にまとめた「テレビ会議教科書」 (<https://vcbook.vtv.co.jp/>) を 4 月 17 日 Web 上で一般公開したと発表。

テレビ会議の圧縮技術や通信制御方法、人間要因等

を体系的に学べる書籍や資料は、普及の進んだ現在でも少なく、映像コミュニケーション技術を学ぶのに適した書籍が存在しないのが現状だったという。

同社では、社員向け研修教材として、また顧客対応などに生かす目的で、「テレビ会議教科書」を自社内のイントラネット上で公開してきたが、大久保榮氏の功績を幅広く活用されるよう、誰にでも閲覧できる形で Web 公開する。なお、サイトの運営・著作管理は VTV ジャパンが行うとしている。

※大久保榮氏プロフィール：

<https://vcbook.vtv.co.jp/x/SwAL>

導入・利用動向-国内

■ブイキューブ：高木証券、「V-CUBE」を採用し「投信の窓口」WEB 支店の「対面オンラインサービス」を刷新

(4 月 18 日)

高木証券株式会社 (<http://www.takagi-sec.co.jp/>) (大阪市北区) は、株式会社ブイキューブ

(<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) のビジュアルコミュニケーション・サービス「V-CUBE」を採用し、4 月 10 日、「投信の窓口」WEB 支店の「対面オンラインサービス」を刷新したと発表。



「投信の窓口」WEB 支店「対面オンラインサービス」画面イメージ

くらべる。選べる。納得できる。



投信の窓口
TOUSHIN NO MADOGUCHI

「投信の窓口」WEB 支店「対面オンラインサービス」

画面イメージ

(ブイキューブ)

高木証券は、2016 年 4 月 18 日より、投信の窓口 WEB 支店を開設し、インターネットによる対面オンラインサービスを提供していたが、以前に導入していた

システムでは、利用できる環境や端末に制限があったため、これらを解決するために V-CUBE を採用した。

刷新した対面オンラインサービスでは、PC、スマートフォン、タブレットなど多様なデバイスに対応し、高画質、高音質で安定した利用が可能となっている。

これにより、多様なデバイスに対応しさまざまな年齢層の方が簡単な操作でサービスを利用できるようになった。また、WEB 支店では 1 回あたりの個別相談の時間は 45 分だが、V-CUBE を採用することで長時間の個別相談をストレスなく行えるようになった。加えて、簡単に画面共有が可能で、高木証券が独自開発した投信分析システム「ファンド・ラボ」や投資関係資料を共有した説明に関する利便性も高く、安心して利用できるサービスを提供している。

高木証券は、モバイルデバイスから利用しやすくなる対面オンラインサービスの利用範囲を拡充し、専門知識の豊富なスタッフによる商談の遠隔同行など多様な事業展開や業務の効率化を目指すとしている。

一方、ブイキューブは、金融業界において今後増えると見込まれる、非対面取引や相談・サポート業務で利用しやすいサービスの開発を推進し、金融業界における働き方改革を支援していく考えだ。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社ロジクール

BRIO--RightLight 3 (HDR) を採用した 4K Ultra HD ウェブカメラ

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/brio>

SmartDock--Skype for Business 用に設計された、セキュア ミーティングルーム コンソール

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/smartdock>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (5月から6月)

「失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー」、「従来比 1/3 のコストで導入できる” V-CUBE Box 体験セミナー」、「ブイキューブロボティクス ドローン業務活用セミナー」 など

会場 (各地)、日時など詳細・申込 :

<https://jp.vcube.com/event/all>

■動画活用セミナー開催のご案内

E-ラーニング大手 iStudy 社のセミナー

日時: 5月17日(水) 15:00 ~ 17:00

会場: アイスタディ 中目黒オフィス(東京都目黒区)

主催: アイスタディ株式会社

詳細・申込 :

https://www.qumu.com/ja/blog/ja/2017/03/22/istudy_qumu/

■Deltapath Asia Tour 2017, Tokyo**Partnering with Deltapath**

日時：5月26日 15:00～17:30（開場：14:45～）

会場：WTCカンファレンスセンター（東京都港区）

主催：デルタパスジャパン株式会社

詳細・申込：

<https://www.deltapath.co.jp/events/40/jp-deltapath-asia-tour-2017-tokyo>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jpサイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNAレポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年4月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp